

米国海軍病院船マーシーの セミナー班員について



平成30年5月17日
内閣府（防災担当）

1 各班のテーマ・目的

I 班 病院としての能力

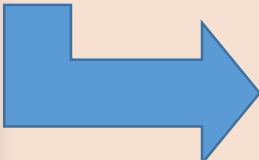
＜目的＞ マーシーの災害時の病院としての機能及び対応能力を学習し、日本における病院船機能への課題について議論する

II 班 災害時の運用方法

＜目的＞ マーシーの災害時の運用方法を学習し、既存船舶を活用した訓練への示唆を含む、日本における災害時の病院船運用への課題について議論する

III 班 平時の運用方法

＜目的＞ パシフィック・パートナーシップ（P P）をはじめとするマーシーの年間を通じた活動について学習し、日本における平時からの病院船運用への課題について議論する

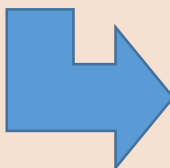


各班長がとりまとめ



パワーポイント
数枚程度

- ・各班長が6/19 シンポジウムで発表（20分/班）
- ・米軍シンポジストも交えて意見交換



各セミナー班員のレポートを企画検討会に報告（7月）
企画検討会で本事業の成果についてとりまとめ
（8月以降）

2 各班の体制割

I 班 病院としての能力

＜体制＞ ○班員 2 3 名、省庁オブザーバー 4 名

II 班 災害時の運用方法

＜体制＞ ○班員 2 1 名、省庁オブザーバー 9 名

III 班 平時の運用方法

＜体制＞ ○班員 1 0 名、省庁オブザーバー 5 名

班員＋省庁オブザーバー 合計 7 2 名程度

※企画委員会の有識者委員については、座長は全体を統括する役割を担うほか、他の委員については、I 班からⅢ班のいずれかに班員として属していただく。

※企画検討会の行政機関委員は、班員に対して行政上の知見を提供していただく観点から、いずれかの班に省庁オブザーバーとして、適任者を推薦いただく。

※班員、省庁オブザーバー以外にセミナーの見学者（オブザーバー）がいる。

■ 班長の主な役割

- ①学習会の内容について事務局と調整
- ②シンポジウムでの発表に向けた班内とりまとめ
- ③シンポジウムでの発表、意見交換
- ④シンポジウムでの意見交換を踏まえたとりまとめ結果を企画検討会に報告

I 班 病院としての能力

〔属性の考え方〕 医療関係に知見を有する方を中心とする構成

〔班員〕

◎班長

山口 芳裕（企画検討会委員、杏林大学教授、東京DMAT運営協議会会長）

◎副班長

横田 裕行（企画検討会委員、日本医科大学大学院教授、
日本救急医学会代表理事）

◎医療関係者等

土肥 謙二（昭和大学医学部 救急・災害医学講座 主任教授、東京DMAT）
福田 賢一郎（昭和大学医学部 救急・災害医学講座 助教、東京DMAT）
玉造 達郎（昭和大学病院 薬剤部、東京DMAT）
東京DMAT※2名人選中
石川 広己（日本医師会常任理事 医師 日本医師会 JMAT）
新井 悟（東京都医師会理事 医師 日本医師会 JMAT）
杉町 正光（兵庫県医師会理事 医師 日本医師会 JMAT）
井伊 久美子（日本看護協会副会長看護師 日本医師会 JMAT）
江口 義光（兵庫県医師会「JMAT兵庫」ロジスティクス 日本医師会 JMAT）
近藤 祐史（日本赤十字社医療センター 医師）
板垣 知佳子（日本赤十字社医療センター 看護師長）
杉谷 輝男（日本赤十字社医療センター 技士）
杉原 正（日本赤十字社医療センター 事務職）
中司 峰生（武蔵野赤十字病院 医師）

◎看護師

道又 元裕（杏林大学医学部付属病院 看護部長）

〔班員〕

◎臨床工学技士

酒井 基広（東京都臨床工学技士会 会長）

◎薬剤師

西澤 健司（東邦大学医療センター大森病院 薬剤部 部長）

◎NBC専門家

浅利 靖（北里大学病院救命救急・災害医療センター センター長）

◎医療施設設計専門家

辻 吉隆（㈱竹中工務店 医療福祉・教育本部 主監）

◎東京都災害医療コーディネーター

猪口 正孝（東京都医師会副会長）

〔省庁オブザーバー〕

伊藤 孝（内閣府 政策統括官（防災担当）
付参事官（災害緊急事態対処担当）付参事官補佐）
小谷 聡司（消防庁 救急企画室 救急専門官）
徳本 史郎（厚生労働省 医政局 地域医療計画課
救急・周産期医療等対策室長）
得津 馨（防衛省 人事教育局 衛生官）

計27名

Ⅱ班 災害時の運用方法

〔属性の考え方〕 災害時のオペレーションに関わる幅広い分野で知見を有する方を中心とする構成

〔班員〕

◎班長

小井土 雄一（企画検討会委員、厚生労働省DMAT事務局長、
日本集団災害医学会代表理事）

◎副班長

野口 英一（元東京消防庁救急部長）

◎医療関係者等

吉井 秀彦（企画検討会委員、防衛省 海上幕僚監部 衛生企画室 医務衛生官）

霧生 信明、米山 久詞（日本DMAT医師）

江津 繁、中村 あおば（日本DMAT看護師）

小西 英一郎（日本DMAT業務調整員）

吉原 克則（東邦大学医療センター大森病院病院長、災害拠点病院）

※1名人選中（東邦大学医療センター大森病院看護師、災害拠点病院）

◎災害対応関係有識者

宮寄 泰樹（元陸上自衛隊陸将、元東京都危機管理監）

原 忠（高知大学教育研究部自然科学系教授）

國崎 信江（株式会社危機管理研究所代表）

市川 学（東京工業大学情報理工学院特別研究員）

◎臨床工学技士

三木 隆弘（日本大学病院臨床工学室技術長補佐）

◎船舶関係有識者

庄司 るり（東京海洋大学 教授）

〔班員〕

◎防災等研究機関

中林 啓修（阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター主任研究員）

田口 仁（国立研究開発法人 防災科学研究所）

◎物流関係者

吉田 徹（日本通運株式会社海運事業支店事業統括部（港運担当）部長）

◎国内NPO関係者

栗田 暢之（NPO法人レスキューストックヤード代表理事）

◎東京都災害医療コーディネーター

大友 康裕（東京医科歯科大学医学部附属病院救命救急センター長）

〔省庁オブザーバー〕

宮城 洋介（内閣府 政策統括官（防災担当）

付参事官（地方・訓練担当）付参事官補佐）

堺 尚大（内閣官房 副長官補（事態対処・危機管理担当）付参事官補佐）

明田 大吾（消防庁 防災部 広域応援室 課長補佐）

伊藤 香葉（厚生労働省 医政局 地域医療計画課

救急・周産期医療等対策室 災害時医師等派遣調整専門官）

星川 直人（国土交通省 大臣官房参事官（運輸安全防災）付）

谷 清仁（海上保安庁 警備救難部 環境防災課・防災対策官）

中尾 京一（防衛省 統合幕僚監部参事官 企画官）

小澤 洋之（東京都 総務局 総合防災部 防災対策課長）

清武 直志（東京都 福祉保健局 医療政策部 災害医療担当課長）

計30名

Ⅲ班 平時の運用方法

〔属性の考え方〕 船舶の活用方法や運用マネジメントに関わる幅広い分野で知見を有する方を中心とする構成

〔班員〕

- ◎班長 砂田 向壺（企画検討会委員、公益社団法人モバイル・ホスピタル・インターナショナル理事長）
- ◎副班長 山田 謙次（株式会社野村総合研究所 プリンシパル）
- ◎防災関係有識者 植田 達志（静岡県 危機管理部 危機報道監）
- ◎船舶運営機関関係者 菊池 聰（国立研究開発法人 海洋研究開発機構(JAMSTEC) 執行役）
- ◎離島医療関係者 岩本 一壽（社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 岡山県済生会 支部長）
村瀬 邦彦（長崎県 五島中央病院 病院長）
- ◎シンクタンク等 中野 孝幸（認定NPO法人 健康医療評価研究機構 事務局長）
- ◎国際協力 神内 圭（独立行政法人 国際協力機構 国際緊急援助隊事務局 次長）
乗竹 亮治（特定非営利活動法人 日本医療政策機構 事務局長）

〔省庁オブザーバー〕

- 三瀬 博文（内閣府 政策統括官（防災担当）付参事官（災害緊急事態対処担当）付参事官補佐）
- 藤岡 俊之（内閣官房 副長官補（内政担当）付主査）
- 米田 麻希子（外務省 国際協力局 緊急・人道支援課 主査）
- 北久保 智也（厚生労働省 医政局 地域医療計画課 救急・周産期医療等対策室 災害医療対策専門官）
- 矢田 純子（防衛省 防衛政策局 国際政策課 国際安全保障政策室長）

計 14 名